



わが家の一冊
保存版

見て、使って、備えよう!!

たかまつ 防災マップ

わたしたちのまちの
減災を目指して!



高松市

平成27年改訂

もしもに備えて
事前に準備しておきましょう!

災害時のためにの連絡MEMO

●家が被災したときの集合場所



または

●避難所



●家族・知人の連絡先

名 前	携帯電話	勤め先・学校の連絡先
	TEL	TEL

空欄にご家族などで話し合ってご記入ください。

大きな地震が発生すると、電話回線が混み合い、つながりにくくなります。このようなとき、各電話会社が設置する『災害用伝言ダイヤルサービス』や『災害用伝言板サービス』を利用できます。

災害用伝言ダイヤルサービス 171



災害用伝言板サービス

*スマートフォンでも災害用アプリで情報を登録できます。

例えば、NTTドコモの場合…

災害用キット

災害用伝言板

情報を入力

登録

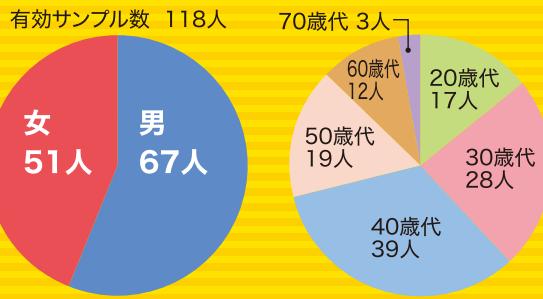
*au、ソフトバンクなどの各社に同様のサービスがあります。

安全対策は
万全ですか?

防災意識アンケート

高松市民に 聞きました!

高松市民の防災意識について、アンケートをしてみました。あなたはどうですか? 災害のための備えをしていますか?



Q1. 高松でも自然災害が起きると思いますか?

- A.Yes B.No

Q2. あなたの住んでいる地域で、過去に発生した大きな災害はどのようなものですか?

- A.高潮 B.洪水 C.土砂災害 D.地震 E.津波 F.その他

Q3. 南海トラフを震源とする地震が発生した場合、あなたの住んでいる地域でいちばん心配な現象は何ですか?

- A.揺れ・震度 B.津波による浸水 C.土地の液状化 D.その他

Q4. 災害に備えて、飲料水など非常持ち出し品や備蓄品を準備していますか?

- A.Yes B.No

Q5. 自宅では地震に備えて、家具や冷蔵庫などを固定していますか?

- A.Yes B.No

Q6. 自宅に最も近い避難所がどこか知っていますか?

- A.Yes B.No

Q7. あなたの住んでいる地域に自主防災組織はありますか?

- A.Yes B.No C.知らない

Q8. 災害時の連絡方法や避難時の集合場所など、家族で話し合ったことがありますか?

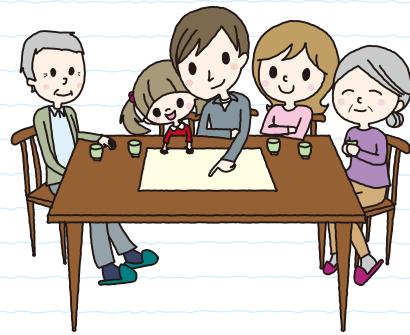
- A.Yes B.No

Q9. 電話をを使った安否確認方法(災害用伝言ダイヤルなど)の使い方を知っていますか?

- A.Yes B.No

Q10. 防災マップや災害危険予測図などを見て、住んでいる地域の危険箇所を確認していますか?

- A.Yes B.No



結果発表

非常持ち出し品等の
用意は
25%のみ!!

自然災害に遭遇すると思っている人

地震に備えて家具固定をしている人

79%

17%

Q1.	Yes 79%	No 21%
Q2.	高潮22% 洪水16% 土砂災害10% 地震13%	その他39%
Q3.	揺れ・震度54%	津波による浸水25% 土地の液状化14% その他7%
Q4.	Yes 25%	No 75%
Q5.	Yes 17%	No 83%
Q6.	Yes 61%	No 39%
Q7.	Yes 23% No 10%	知らない 67%
Q8.	Yes 50%	No 50%
Q9.	Yes 29%	No 71%
Q10.	Yes 30%	No 70%

災害に遭うかもしれないとは思っているけど、非常持ち出し品や備蓄品を揃えたり、家具・家電の固定をしている人は意外に少ないですね。アンケートの結果、防災意識を高めることが重要だと分かりました。



ご存じですか？

若い人たちにも “防災意識”が高まっています！

防災について、
もっともっと
知つてもらうために、
調べてみました！

防災における各地域の活動は様々ありますが、その中でも注目したいのは10代～20代の若者たちが関心を持ってきていることです。香川大学では、防災の講義を通して、「防災士」の資格取得を目指し、もしものときに役立つ知識や技能などを学び、減災と社会の防災力向上のために取り組んでいる皆さんがあります。私たちも彼らと一緒に、防災意識を高めていきませんか？

防災士とは…

自助・互助・協働を原則として、防災における十分な意識・知識・技能を有する人。資格取得試験に合格すると、NPO法人日本防災士機構より認定証が発行されます。

防災士の資格を持つ私たちと一緒に、危機意識から見直しましょう！

「僕」の祖父母の家が平成16年の台風16号で浸水し、泥だらけの家の中で祖母が泣いていました。その記憶が今も鮮明に残っています。それで防災に興味を持ち、工学部に進みました。今は高松市内のコミュニティセンターで防災マップづくりのお手伝いをしています。みなさんと信頼関係を築きながら防災意識を高められたらと思っています。

阿部 龍矢さん
(香川大学工学部4年生)



「香」川大学の機能別消防団に所属しています。年に何度か行われる防災訓練にも参加しています。東日本大震災のときは関東に住んでいたのですが、地震の揺れと液状化により、大変な状況でした。そのときにはみんなが一気に物資の買占めに走ったので、家庭内でも3～4日分の食料品を備蓄しておいた方がいいと思いました。

木野 恭子さん
(香川大学法学部2年生)

「N」PO法人災害に強いまちづくり研究会に所属して高松市内のコミュニティセンターの防災マップづくりや、小学生と防災士と一緒に通学路を歩いて、危険な場所を確認する子ども探検隊などをしました。その経験から子どもが防災に興味を持つことの大切さを学びました。

黒川 麻子さん
(香川大学工学部OG)

「高」松市内のコミュニティセンターで防災マップづくりをしたり、丸亀市の川西地区の要援護者マップの改訂版の作成を手伝いました。その経験でいざというときに援助の手が必要な人たちの支援体制づくりの大切さを知りました。また防災は事前の準備がいかに大切かも教えられました。

清水 謙平さん
(香川大学大学院工学研究科1年生)

もくじ Contents

※本誌に記載している内容は、平成26年5月現在のものです。

わが家の書き込みチェックシート	2
▶ 地震・津波編	
“高松は大丈夫”は大きな間違い!	3
南海トラフ地震の新被害想定について	4
地震発生後、ライフラインはどうなる?	10
早めの対応で、被害想定が大幅に減少します!!	11
地震発生から避難後までの行動マニュアル	13
あなたの家は安全ですか?	16
▶ 風水害編	
風水害に備える	19
洪水災害から身を守るには	20
土砂災害から身を守るには	21
知っておきたい! 台風の知識	22

▶ 地域の自主防災

ご近所の助け合いとぬくもり それが地域の力に	25
自主防災リーダーに聞く!	27

▶ わが家の備え

わが家のオリジナル防災マップを作ろう	32
いつも備えておこう わが家の防災セット	34
わが家の防災情報収集	36



家族で話そう！自分でつくる！

わが家の書き込み

チェックシート



① 南海トラフ地震のことを知っていますか？

- 南海トラフ地震ってなに？発生確率は何%？ P3
- どれくらい被害が出るの？ P4
- 想定される震度は？ P5
- 想定される津波水位は？ P6
- 想定される津波浸水域は？ P6
- 液状化の危険度は？ P8
- ライフラインはどれくらいで復旧するの？ P10
- 建物の耐震化で減災できるの？ P11
- 早めの避難で減災できるの？ P11

② 日頃から防災について考えよう

- 地震発生後の避難行動は？ P13
- 家屋の耐震化チェック P16
- 家具の転倒を防ぐには？ P17
- 洪水災害から身を守るには P20
- 土砂災害から身を守るには P21
- 避難する時はどんなものを持っていけばいいの？ P34
- 緊急情報を入手するには？ P36
- 気象情報を知るには？ P37
- 専門家に聞いてみました P12
- 学生に聞いてみました P24
- 地域の活動を知ろう P26
- 女性の視点から考え方 P31

③ わが家の防災マップを作ろう！ P32

家族で話そう。自分でつくる。そして、家族が見えるところに貼っておこう。

④ もしもの時に備えて 避難所・連絡先 リストに記入しよう！

災害時のための連絡MEMO

- 家が被災したときの集合場所
- 避難所
- 家族・知人の連絡先



話し合おう



裏表紙